

ねっとわーく

3月号

No. 161

特色ある公民館活動



「青空がほしい」朗読劇〈北九州市〉



通学合宿〈粕屋町〉



公民館新体育祭〈みやま市〉



高齢者生き生き講座〈赤村〉

市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- ・ 市民に伝える公害克服の歴史
- ・ 通学合宿から広がる地域交流
- ・ 地域の誰もが「気軽に安心して参加できる」公民館活動へ
- ・ 無理なく、楽しく、健康に！ 高齢者生き生き講座

- 北九州市立東戸畑市民センター ……P1
- 粕屋町戸原区公民館 ……P2
- みやま市下庄公民館 ……P3
- 赤村中央公民館 ……P4

こちら県公連

- ・ 令和6年度福岡県公民館実践交流会報告 ……P5



市民に伝える公害克服の歴史「青空がほしい」朗読劇から公開座談会へ
北九州市立東戸畑市民センター

【地域の概要及び経緯】

北九州市戸畑区（旧戸畑市）は、かつて高度経済成長期に深刻な公害に直面し、市民・行政・企業・研究機関が一体となってこれを克服した歴史があります。1950年から20年間にわたる市民活動は「青空がほしい」というスローガンを掲げた婦人会の学習会から始まり、発展しながら環境・開発・ジェンダーの視点に立つ活動との評価を国内外から受け、やがては環境先進都市として歩みを進めてきた経緯があります。

【活動内容】

本事業は、旧戸畑市制100周年の事業として企画しました。次世代へ伝え残したい地元の歴史としてはまず、婦人たちが家族の命と生活を守ろうと立ち上がり、社会教育主事のファシリテーターや調査研究機関の指導を受け、やがては行政や企業を動かすこととなった市民活動についてです。この活動が、公民館活動から発展した課題解決の取り組みとしての先駆けであったことはいうまでもありません。そこで今回、この活動の歴史を伝える試みとして「青空がほしい」朗読劇の上演に挑戦しました。朗読の指導者を迎え、近隣の住民を交え10名で2ヶ月程の練習を重ね、5月30日に120名の観客の前で上演しました。当時を知る人にも知る機会がなかった人にも予想外に大きな反響がありました。その関心度の高まりから、戸畑の誇りとして継承するべき取り組みだとの重要性を共感できました。朗読劇は婦人たちの活躍にスポットを当てた物語のため、公害克服に至る経緯における、行政や企業の努力にまで言及できませんでした。そこで本事業の第2弾として行政や企業の人々の努力に焦点をあてた講話を開催し、学ぶことにしました。当時の活動をけん引してきた人物との直接のやりとりもあり、語り伝えることのできる元行政職員や科学技術者を登壇者に迎え、公開座談会を11月29日に開催しました。60名の参加者と共に、時代背景や当時の人々の課題解決に向けてのエネルギーや、その取り組み姿勢に学びながら、公害克服の実相を多角的に捉えていく事業となりました。



「青空がほしい」朗読劇の上演



公開座談会の様子

【成果と課題】

市民活動に端を発し、産学官民連携へと至った北九州の公害克服運動の歴史は資料で学ぶことができます。しかし、半世紀以上前に遡る歴史の中に今にも通用する課題解決に向かう取り組みのお手本があったこと、それを誇りに思える地域住民と学び合えたことに大きな意義を感じています。朗読劇の練習風景から報道機関の取材が始まり、全国ニュースにも取り上げられたことで、市内外の小学校から問い合わせもありました。先ずは大人が学んだことを次世代へいかに語り継いでいけるか、その手法についての模索は続きます。

【問合せ先】 東戸畑市民センター

〒804-0081 北九州市戸畑区千防3丁目1-12

TEL 093-881-1019 FAX 093-881-1019

～通学合宿から広がる地域交流～

【戸原区公民館】

【地域の概要及び経緯】

粕屋町には 24 行政区があり、戸原区の人口は約 2,900 人、世帯数は約 1,200 世帯で大川小学校区に位置しています。戸原区公民館は、平成 16 年に建て替えられ、敷地面積は約 1,270 平方メートルでテニスコート 5 つ分程度の面積があります。2 階建てで、広いホールや調理室があり、会議室と和室もそれぞれ 2 部屋ずつ完備しています。戸原区では、行政や教育機関などとも連携をし、特色ある活動を通して、地域全体で次世代を担う子どもたちの育成に繋げるため、小学 5,6 生を対象に通学合宿を実施しています。

【活動内容】

地域通学合宿は地域の子もたちが、公民館に宿泊して、公民館から学校に通い子どもたち同士で助け合って共同生活をし、大人はできる限り手を出さず見守るという活動です。この合宿に参加する子どもたちは、事前に子ども会議で何度も通学合宿の内容を話し合います。班分けや係決め、朝食や夕食のメニューなど、困ったときは大人にアドバイスをもらいながら 2 泊 3 日を子どもたちで協力して活動できるよう計画します。子どもたちは親元から離れ、共同生活を通して、家庭の大切さを認識するとともに、生活体験の中で自立性・連帯性などを養い心豊かに生きることのできる資質や能力を身につけていきます。さらには支援いただいた地域の人々と、融和の芽が生まれています。令和 6 年度は 5,6 年生の希望者が 14 名参加しました。支援ボランティアには、保護者や地域の方など 20 名以上にご参加いただきました。

～令和 6 年度通学合宿の主な流れ～ 10 月 17 日～10 月 19 日（2 泊 3 日）

【1 日目】		【2 日目】		【3 日目】	
17:00	開所式	6:00	起床	6:00	起床
17:30	お風呂	7:00	朝食作り、朝食	7:00	朝食作り、朝食
19:00	夕食作り、夕食	8:00	学校登校	8:00	大川小学校除草作業
20:45	宿題、自由時間	17:00	お風呂	10:00	公民館清掃
22:00	就寝	18:30	夕食作り、夕食	10:15	反省会
-	-	20:00	お楽しみ会	10:30	閉所式
-	-	22:00	就寝	-	-



【公民館から学校へ通学】



【みんなで協力して夕食作り】

【成果と課題】

子どもたちは、2 泊 3 日の通学合宿を通して、たくさんの保護者や地域の人と関わり、周りの人への感謝の気持ちや立ち振る舞いなどに変化が見られました。通学合宿の終了後は子どもたちと地域の方々が挨拶を交わすなどつながりが深まったように感じました。今後は、より多くの子どもたちが参加できるよう SNS や回覧板を活用して、公民館活動を発信していきたいと思います。また、地元の活動団体や企業とコラボし、様々な体験や交流を通して子どもたちが学ぶこと、感じる事がさらに増えるような工夫をしていきたいと思っています。

戸原区公民館

〒811-2318 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東 3 丁目 1-1

TEL: 092-938-4663

地域の誰もが「気軽に安心して参加できる」公民館活動へ
～公民館新体育祭開催を通して～

みやま市下庄公民館

【地域の概要及び経緯】

みやま市は、筑後地方南部に位置し、人口約36000人の自然に包まれた市です。人と自然が共に育み、つながり、成長し続けるまち～みんなにやさしいまち みやま～をめざしています。下庄は、平安時代に成立した荘園であり、矢部川沿いの左岸に位置する歴史のある地域です。公民館では現在、未来型・新たな公民館活動の展開を目指して、役員一同創意工夫・試行錯誤しながら力を合わせて頑張っています。

【新体育祭開催に向けて】


3年前、コロナ禍という厳しい状況の中、「コロナ禍が開けた時こそチャンス」という強い思いで準備を進めてきました。「たくさんの地域の方に体育祭（他の行事を含む）に参加して楽しんでもらう。」この課題の解決を目指し、本公民館では、新たなスタイルの体育祭実現に向かって早めに動き始めることにしました。過去の地域対抗・全力で競い合う体育祭での問題点を出し合い、「子供から老若男女全ての皆さんに気軽に、楽しく参加してもらえる」「役員も楽しみとやりがいを感じる」そのために「幅広い意見を求める」という3つの視点で協議を重ねてきました。

数回の会議を重ね、伝統を守りつつも、新たな競技を取り入れた「レクリエーション型」の体育祭開催へと一歩前進する手ごたえを得ました。徐々に役員間に一体感が生まれ、「やってみよう。」という雰囲気が出てきました。それからは、幅広い年代層の役員から建設的な意見が次々に出され、一致団結のもと写真1のようなプログラムが出来上がりました。

開催日が近づくにつれて、様々な不安もありました。しかし、当日は、500名を超える皆さんが来場し、笑顔で参加していただき、想像以上に盛り上がりました。地元の中学生も前日、当日と、用具・演技・放送等の仕事を手伝ってくれました。それを見た小学生も進んで手伝ってくれるという連鎖も起きてきました。終了後、参加した皆さんから「久しぶりに楽しかった。もっと自由参加の競技を入れてほしい。」等の声、一方では運営面での課題も指摘をいただきました。今回の活動を通して学ぶものが多々ありました。今後も役員・地域・子供達の声に耳を傾けながら、地域の皆さんと共に工夫・創造してまいります。

【成果と課題】

- 成果 新しいスタイルの体育祭（行事）を地域の皆さんと共に創造できつつあり、地域の皆さんが求めている公民館活動の姿が垣間見えた。
- 課題 他の行事でも、幅広い視野から意見を求め「地域のみなさんが、気軽に安心して楽しく参加してみたい」と思われるような公民館活動へと広げていく。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順
全抽選会	チみんなで升	全玉入れ	個ホイルインワン	個パン食い競争	個はしれはしれ	チボール送り	個小学生徒競走	個小学生徒競走	全準備体操	態
										種目
全員	各チーム10名	自由参加	自由参加	各チーム6名	幼児・園児	各チーム10名	小学生4～6年生	小学生1～3年生	全員	対象
壮年部	体育部	体育部	体育部	本部役員	体育部	体育部	体育部	体育部	小学生	担当

【写真1：新体育祭プログラム】



【写真2：自由参加競技:大人対子供玉入れ】

【問合せ先】 下庄公民館・ふるさと館

〒835-0024 みやま市瀬高町下庄1373番地

TEL 0944-62-2157 FAX 0944-62-2157

【地域の概要】

赤村は福岡県田川郡の東部、英彦山から扇状に走った山麓に挟まれた細長い盆地にあります。ホタルが生息する清流と、緑豊かな山々に囲まれ、澄んだ空気、美しい自然、美味しい農産物、源じいの森温泉があるのどかな農村です。

【活動内容】

高齢化率 41.7%（令和7年2月1日現在）を超える赤村は、公民館講座で高齢者の方を対象に、運動で健康を維持するための講座や教室を行っています。



▲高齢者生き生き講座で元気に体操！

（～高齢者生き生き講座～）

「高齢者生き生き講座」では、高齢者の方に無理なく楽しく、効果的に行える運動を実施します。

直近では令和5年6月20日（火）に福岡市の運動教室等で健康運動指導士として活躍されている平塚泉先生を講師としてお招きして実施しました。平塚先生のユーモア溢れる指導のもと、椅子に座った状態での簡単な運動を行いました。当日は12名が参加し、指導のとおり体を動かすと、自分の身体の可動域が大きくなり、驚きや喜びの表情であふれました。

（～スロージョギング教室～）

「スロージョギング教室」では、主に高齢者の方を対象に、日頃運動を行わない方もスロージョギングを通して体を動かしてもらい、自宅でも行えるように講義・実践を行っています。また、ニュースポーツや道具を使わない筋トレを行うなど、より良い講座になるよう工夫をしています。教室は奇数月の第3木曜日、14時から15時まで行います。令和7年2月現在の受講者は5人です。

【成果と課題】

参加された方の、アンケート結果や直接お聞きした声から、とても好評であることがわかります。しかし、企画した講座によっては、村内に広報等で周知しても人が集まらず実施できていない講座もあります。今後どのように村内の高齢者の方に周知していくか課題です。

また、教室に一度参加されても継続が難しい方もいらっしゃいます。運動の効果を出すためにもいかに継続してもらおうかが課題です。

【問合せ先】 赤村教育委員会 教務課社会教育係

〒824-0432 福岡県田川郡赤村大字内田1188番地

TEL 0947-62-3003 FAX 0947-62-3017

令和6年度 福岡県公民館実践交流会 ～ 報 告 ～

▷はじめに

令和7年1月24日（金）に宗像ユリックス（宗像市）にて令和6年度福岡県公民館実践交流会を開催しました。当日は、県内各地から626名の公民館関係者に御参加いただきました。開会行事では、全国公民館表彰の伝達授与式を行いました。その後は、「家庭教育」「青少年育成」「ボランティア活動」など8つの分野の実践を4分科会場に分かれて発表していただきました。どの会場でも、活発な意見交換が行われました。



【伝達授与式の様子】

▷おらが公民館自慢コーナー

今年度の実践交流会では、参加された皆様により多くの学びを得ていただきたいという思いから、新たな取組として「おらが公民館自慢コーナー」という掲示コーナーを設置しました。県内15の公民館等の皆様に御協力をいただき、各館の特徴的な事業や取組を模造紙にまとめていただきました。どの掲示も内容の詰まった参考になるものばかりで、参加者が食い入るように見る様子が印象的でした。



【おらが公民館自慢コーナーの様子】

事後のアンケートには「とても参考になった。是非真似したい。」等の感想が多くみられました。

▷分科会

各分科会では、県公民館連合会専門部員の進行の下、実践を発表していただきました。どの発表も具体的な取組の様子や実践の手法が分かるように工夫されており、参加者は有意義な情報が得られたようでした。また、発表後の質疑応答の時間には、県の社会教育主事がファシリテーターを務め、内容がより深まるように参加者から質問や意見を引き出しました。



【第2分科会の様子】

事後アンケートでは「大変参考になった」「参考になった」という肯定的な評価を多くいただきました。感想の中には、「ぜひ、真似したい。さっそく帰ったら提案してみます。」や「他の地域の素晴らしい活動に感動しました。取り入れていきたいです。」など自分の地域で活かそうとするものが多く見られました。



【第4分科会の様子】

▷おわりに

貴重な実践を提供していただいた公民館等関係者の皆様の「地域をさらによりよくしたい」という熱意が参加者に伝わった大変有意義な実践交流会となりました。また、新たな取組として実施した「おらが公民館自慢コーナー」も大変好評で、次年度以降も継続して取り組んでいきたいものになりました。さらに多くの公民館等の皆様に御協力をいただくと幸いです。

次年度は令和8年1月22日（木）に宗像ユリックスでの開催を予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。